

橋線
東京
錦東
国港
岩空

広島県内の利用増

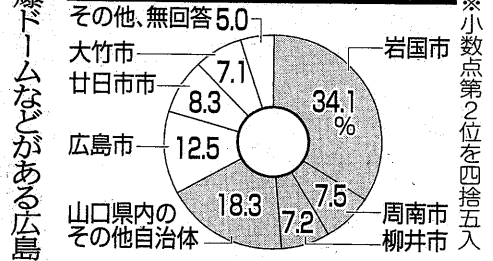
支援協調査27%占める

岩国錦帯橋空港(岩国市)の東京線で、羽田行きの利用者は山口県内が67・2%に対し、広島県内からは27・8%を占めることが、岩国市と岩国商工会議所で行く同空港支援協議会が実施した利用者アンケートで分かった。昨年5月の調査では山口78・6%、広島19・2%。協議会は広島都市圏西部から東京への移動手段として同空港が定着しつつあるとみている。

アンケートは2月に実施。利用者1234人から有効回答を得た。空港の利用目的は、仕事が661人(53・6%)、観光が300人(24・3%)だった。羽田へ向けた利用者665人を市町別にみると、岩国市が34・1%と最多。広島市12・5%、廿日市市8・3%、周南市7・5%、柳井市7・2%と続いた。昨年5月に実施したアンケートでは、岩国市41・2%、広島市8・1%だった。

協議会は「広島県西部の企業を訪問してPRに努めており、主にビジネスで広島方面からの利用が伸びている」と分析する。また、羽田に帰る利用者529人に目的地を尋ねると、岩国市が42・3%と最多。廿日市市11・2%、広島市9・8%、大竹市9・1%と続いた。世界遺産の島・宮島がある廿日市市や

羽田行き利用者の住所の内訳



市中区は6割前後が観光目的だった。地元岩国や周辺市町では仕事での訪問が5割以上を占めた。広島県空港振興課は、アンケート結果を「想定内」とし、「広島県西部住民の利便性向上や宮島の観光振興につながっているなら、オール広島という観点では歓迎」としている。(野田華奈子、下久保聖司)